

事業番号	06 05 01	事業改善シート(27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	自然公園施設整備事業費			担当課	部局	環境部	
総合5か 年計画	プロジェクト	2-1-2 農山村産業クラスター形成プロジェクト 6-4-2 誇りある暮らし実現プロジェクト		課・室	自然保護課		
	施策の総合的展開	3-2 豊かな自然環境の保全 2 自然環境の保全		E-mail	shizenhogo@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	S33 ~	

1 事業の概要

目指す姿	自然公園等の自然環境や優れた風致景観を維持し後世に伝えるとともに、多くの県民が自然と触れ合える施設の整備を進める。		
現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 自然公園等における県有施設の老朽化に伴う改修及び維持管理 国立、国定公園内の市町村が管理する自然公園施設の改修等への支援 山小屋事業者等が行う管理者が不明確な登山道等の維持管理への支援 自然公園内におけるし尿処理の改善、ニホンジカによる高山植物の食害防止への支援 		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 自然公園法、地域自主戦略交付金交付要綱、自然環境整備支援事業補助金交付要綱・取扱要領、民間との協働による山岳環境保全事業交付要綱・実施要領	
	県民との協働による実施:	実施中	

成果目標・ 事業内容	① 成果目標(H27)						
	<ul style="list-style-type: none"> 自然公園内の施設等整備の箇所数 35箇所 【内訳】 自然公園施設等整備事業による県有施設の改修 6箇所 L=55mほか 自然環境整備支援事業による市町村有施設の改修 13箇所 L=2,277mほか 民間との協働による山岳環境保全事業による山小屋事業者等への支援 6箇所(累計:64箇所) 山岳環境整備パイロット事業による市町村等への支援 10箇所 山岳環境の保全と適正利用のあり方の合意地域 5地域 						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H27実施内容	H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
		自然公園施設等整備事業	直接	・黒菱唐松岳線歩道公衆便所の改修、鈴蘭車道の舗装改修ほか	9,757	9,120	9,868
		自然環境整備支援事業	補助	・国立、国定公園内の市町村が管理する自然公園施設の改修、及び長距離自然歩道施設の改修への補助	67,573	60,684	118,263
		民間との協働による山岳環境保全事業	直接補助	・自然公園内で市町村が管理する自然公園施設の改修等への補助 ・山小屋事業者が行う管理者不明確な登山道の維持管理への補助 ・山岳環境連絡会の開催	8,400	5,836	8,000
	山岳環境整備推進事業	補助	・山岳関係者で将来像を共有した登山道整備に対する支援	-	-	50,200	
	山岳環境整備パイロット事業	補助	・山域ごとの部会において一定の合意が図られ、検討内容に沿った試行が可能な山域において実証を行い、その結果を連絡会の議論に反映させて方針を策定	31,682	22,602	-	
	合計			117,412	98,242	186,331	

事業 コスト	区 分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越	0	0	0	38,404
	当初予算	84,520	78,359	117,412	186,331
	補正予算	-12,750	-11,893	21,910	
	合計(A)	71,770	66,466	139,322	224,735
	一般財源	6,313	6,352	24,043	30,886
	県債	0	0	0	0
	国庫支出金	46,313	51,714	105,879	167,849
	その他	19,144	8,400	9,400	26,000
	決算額(B)	71,315	62,668	98,242	
概算人件費	職員数(人)	3.50	3.50	3.50	3.50
概算人件費	概算人件費(C)	28,903	28,903	28,966	28,966
概算事業費(B(A)+C)		100,218	91,571	127,208	253,701

成果目標の達成状況					
項目	H26末 (実績)	H27			H28 目標
		目標	成果	達成状況	
施設等整備箇所数	26箇所	35箇所	35箇所	達成	-
山岳環境の保全と適正利用のあり方の合意地域	-	5地域	5地域	達成	-
登山道の危険箇所の解消数(累計)	-	-	-	-	100箇所

目標に対する成果の状況	施設等整備箇所数及び山岳環境の保全と適正利用のあり方の合意地域については、山域ごとの取組や課題等の共有が図れたため目標を達成した。 山域の関係者が現状確認及び整備方針を検討することで、山域の現状把握や登山者等を想定した整備の実施に繋げることができた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	自然環境の保全と自然公園の安全な利用を図るため、引き続き老朽化した県有施設(歩道など)の補修を行う。 「山岳の環境保全及び適正利用の方針」に基づき、山域の将来像を踏まえた持続可能な登山道その他必要な施設の整備を更に推進する。